

観光社会資本の事例

テーマ	海の息づかいを感じることのできる空間
【施設の状況写真】	
	
<p>“海の息づかいを感じることのできる空間”をテーマに、潮の香り、海の色、波の音、海の幸、海水の手触りができるように造られた。</p>	<p>海釣護岸で魚釣りを、親水池では家族で水遊びをしたり、公園に隣接した関西電力PR館“エル・マールまいづる”で海上プラネタリウムを見る施設が整っており、賑わいの場となっている。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>水道や照明などの設備が整った海釣護岸(無料)で魚釣りをしている家族。</p>	<p>遊具のある芝生広場や海水を取り入れた親水池で遊んだり、公園敷地内のレストランで食事をすることもでき、家族連れに大人気。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>舞鶴親海公園は、関西電力舞鶴発電所の建設に伴う地域振興策として、舞鶴市が「舞鶴親海公園」を、関西電力が「エル・マールまいづる(PR館)」をそれぞれ建設し、平成16年8月に完成しました。</p>	
<p>無料開放されている海釣護岸には水道や照明施設が整備され、公園敷地内のレストランでは地元的新鲜な魚や野菜を使った料理が好評で、地元住民の家族連れのみならず、多くの観光客などで賑わう舞鶴の新名所となっています。</p>	

テーマ	海の息づかいを感じることのできる空間
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 : 舞鶴親海公園</p> <p>所在地 : 京都府舞鶴市字千歳地内</p> <p>事業名 : 親海公園整備事業</p> <p>事業主体 : 舞鶴市</p> <p>事業期間 : 平成 12 年 ~ 平成 16 年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>地域の活性化</p> <p>舞鶴親海公園は、公の施設を民間業者が一元的に管理運営する「指定管理者制度」を採用し、公募で選ばれた地元住民が出資して興された株式会社により、新鮮な海の幸が売りのレストランや海釣護岸などの施設を管理運営されている。</p> <p>これにより地域が活性化され、地元住民のみならず多くの観光客も訪れる人気スポットとなった。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 舞鶴市・舞鶴観光協会 : http://www.maizuru-kanko.net/</p>	